

## 三刀屋町三刀屋地区 商業の振興について

Q260

私は小売業をしている。次男が後継ぎしてくれているが、日銭の生活で大変きびしい。三刀屋の商店は後継者がなく、高齢化が進んでいる。商店が成り立たなく、空き店舗となるところも出てきた。商売が存続するためには、地域が活性化してお客さんが増えることだが、現実ではむずかしい。商売が地盤沈下している。これに対する施策をやってほしい。市のほうからもアドバイスをしていただくと協力することが出来る。膝を交えて一緒に考えたい

A：普段の仕事を通して感じておられることとお話頂きありがとうございました。攻めの施策をすることは大切なことです。重点課題のなかにもありますが、地域資源を活かした活動でたくさんの人に雲南市に来てもらおうと頑張っています。

今年は木次の商店街で桜まつりに合わせて、イベントを行って閑散としている木次の町も大変喜んでいただきました。木次だけではなく、他にもイベントなどをやって元気になるまちづくりを皆さんと一緒にやっていきたいと思えます。(市長)

## 平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

### 木次町新市地区 商工振興策について

Q261

高速道路はできればいいということではない。出来たとき54号線沿いの商店はどうしたらよいかを考えるべきではないか。

A：高速道路は3年後に吉田掛合インターが開通し、早ければさらに3年で三次まで開通します。三次まで40分ということで通勤可能範囲となります。人・物・金が出て行き、過疎に拍車をかける事例がたくさんありますが、そうならないような、逆に観光客等の流入人口が増えるようなまちづくりをしていかなければと思います。既にブランド化プロジェクトを推進しております。これからも知恵と工夫で活路を見出していきたいと思います。（市長）